

2回も議会で否決された候補をまた副市長に！不在とろいこの機会に副市長を廃止しよう！！

3回目の三浦副市長人事案件は本当だった！9月の本会議で岡本市長は過去2回、柏原市議会で否決された三浦氏をまたもや副市長に担ぎ出したのだ。これには「議会議長！と議会も猛反発、最後には、市長が取り下げたが、なぜ、三浦氏にこだわらる？」

議会の決議を全く聞いていないのか？
かつがれた三浦氏もい迷惑では！

柏原市の副市長が不在になって1ヶ月半になる。今年に入つてわずか3ヶ月間で副市長が3人も辞職したのだ。そして岡本市長がまたもや候補に挙げたのは、毎度おなじみの三浦氏である。

《福島原発事故》その2

「柏原市学校給食の食材」と「代替エネルギー」について

■柏原の学校給食は汚染地域のもの!?

前回の「かしわら見張り番」で、福島原発の事故に触れた。それを読んでくださった柏原市の一人のお母さんが、メールをくださった。「柏原市の学校給食で使われている食材は、福島、茨城など安全性が確立されていないのばかり。」

今、多くのメディアで注目を浴びている京大助教授の小出裕章さんも、「大人の責任として、子供たちに何ベクレルとも探らせてはいけない。放射能にはこのままだと安全という値がないからです。0.1ベクレルでも体の中に入れば、細胞は被爆し続けます」と言っています。

愛媛県などの自治体では、地産地消で地元野菜しか使わないと決めたそうです。私はあちらこちらに訴えましたが、教育委員会は自分たちの仕事ではないといひます。先生たちにはモンスターペアレント扱いされているかもしれない。でも、そんなこと気にしてられないほど、事態は差し迫っています。毎月配られる献立表には何も書いてありません。柏原の大人は子ども未来がどうでもいいみたいなんです」



■太陽光発電だけではない

電気を作るときの法則は「電気を作る設備」にエネルギーを使うか、「電気を作るときの燃料」にエネルギーを使うか、のどちらかです。
〈石油火力発電〉 設備2：燃料8 合計10
〈原子力発電〉 設備8：燃料2 合計10
〈太陽光発電〉 設備30：燃料0 合計30
ドイツではこれまで12兆円かけて「太陽光発電」に取り組みましたが、国民が使う0.25%程度の電気を得ることしかできませんでした。

太陽光発電以外にも、
★メタンハイドレード（石油や石炭に比べ燃焼時の二酸化炭素排出量がおよそ半分。地球温暖化対策としても有効な新エネルギー源であるとされる。）

★オーランチオキトリウム（石油を作る薬）
河北新報社9月3日付 <http://www.kahoku.co.jp> などがあります。



9月1日付の柏原新聞の報道は、「二人制の副市長は異例の空席状態となっている」と市民をおおるように書いているが、この異例の元因をつづつたのは岡本市長という噂も出ている。だいたい、人口7万3000人の小さな市に副市長が二人も制定されているのがおかしいのである。

副市長を置いていない市もある。市長ひとりだけでやれば、財政難解消に！
そもそも人件費のかかる副市長が必要であるのか？近隣の、副市長を置かず、に頭張っている市長もいる。財政難という問題を多く抱える中で、副市長の代わりの職務を職員



柏原市ホームページより

はまうら佳子の元気が出るコラム 柏原ぶどうをブランドに

食欲の秋ですわね、何を食べてもおいしい季節です。そして「柏原のぶどう」、これは絶品ですわ。私、いろいろな方との交流がありますが、国民新党代表亀井先生に「柏原のぶどう」を食べていただいたら、「本当に、甘くておいしい」と言って喜んでくださいました。あまり高いとはいえない私の鼻も、その時だけは、高々やりました。

それに問題なのは、今、柏原のぶどうは後継者不足だということです。せっかく「おいしいぶどう」をつくっているのに、これはもったいないです。

今、岡本市長は、「元気で活気あふれるまちづくり」とおっしゃっていらっしゃいますが、誰も行かない亀の瀬なんかにお金を投入して、若い人たちが喜んで地元で働ける地盤づくりをしたほうが絶対に市は活性化します。

国内、いや世界に誇れる「柏原ぶどう」をぶどうのブランドとして売り出しましょうよ！ほんとにうれしいんだから、胸を張って！！



こんなにおいしいのに、残念ながらあまり国内では知られていないのです。岡山のマスカットや山梨県甲府のぶどうも知られているのに、大阪の柏原のぶどうは、イマイチ……。柏原市民として、これは、ほんとにくやし〜い。

みなさんの声
募集中です。



電話 072-977-5502
FAX 072-977-8782

〒582-0026 柏原市鳩ヶ丘2丁目4番25号
info@kashiwara-mihariban.com

がなしている市もあるのだ。そして、やれてしまふのだ。
天下りの退職者を副市長にするが、特別職として年取が上がりていき、なおか退職金を出すことになる。こんな不要な人件費は即刻カットすべきである。どうせ副市長が空白なら、このまま制度を変えて「副市長を廃止」にしたらどうだろうか。副市長は人分の意味のない人件費はもう不要だ。柏原市は、今こそ他市の負けないような斬新な改革をすべきである。

なにも、この6月に発行された市の建設産業委員会会議録では、市長が許可したいのに、会長が連絡してこないと書かれていた。これは真つ赤なウソである。

ハトール
若い木がやられる。犯人はイノシシである。